

# 令和6年度指導教諭の紹介

<b>教科 (科目)</b> 外国語 (英語)	<b>1 授業の特徴</b> Backward Design (逆向き設計) を意識して授業を構想しています。授業 (または単元) 内で行う様々な活動を最終の言語活動に向けて段階的に構成しながら、目的を明確にした活動を行うことを通して、生徒が英語を身につける (英語を使うことができる) 授業を行うことを心がけています。
<b>名前</b> (ふりがな) 麻生 朋成 (あそう ともなり)	<b>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</b> ① 目的を明確にした言語活動に関する指導のポイント ② Backward Design (逆向き設計) を意識した単元指導計画の立て方 ③ 学習評価の方法
<b>勤務校</b> (問い合わせ先) 大分県立 大分豊府高等学校 住所: 〒870-0846 大分市花園3丁目 3番1号 TEL: 097-546-2222 FAX: 097-546-2405	<b>3 研修講演等が可能なテーマ</b> ・ Backward Design (逆向き設計) を意識した授業づくり ・ 目的を明確にした言語活動のあり方
<b>授業公開の日程</b> 3年 英語コミュニケーションⅢ  文系 木曜7限(クラス固定)  文理S 金曜2限(クラス固定)	<b>4 活動実績</b> 平成30年度 大分県英語担当教員指導力向上研修 講師 令和元年度 英語教育推進リーダー認証 令和元年度 学ぶ力向上ゼミ (1年生対象) 講師 令和2年度 学ぶ力向上ゼミ (2年生対象) 講師 令和5年度 教科における探究力育成プロジェクト 講師
	<b>5 自己紹介、プロフィールなど</b> 指導教諭として8年目を迎えました。これまでは、英語の教師として、生徒の英語学習 (言語習得) のために、自分にできること (すべきこと) を考えながら日々の教育活動に取り組んできました。「英語が苦手!」「英語は難しい!」という生徒の声を聞く度に、教師の指導のあり方のみを見直してきました。授業は教師が行い、いかに指導技術を改善すべきか、ということばかり考えてきました。授業改善を行う中で、授業は教師と生徒でつくるものであるという視点を学びました。以来、生徒の視点から自分の授業を分析・改善するようにしています。生徒にとって、学校生活の中で多くの時間を占める授業を、何とか充実したものにすするためにも、この視点で授業改善を続けていきます。生徒の成長や学習者としての自立に向けて、英語の教師として自分にできること (すべきこと) を考えながら、日々の授業を実践しています。
	<b>6 学校紹介</b> 大分県唯一の併設型中高一貫校で、「感動・理知・友愛」を校訓に「高い志を持ち、国際社会でリーダーとして活躍できる人材」を目指して生徒たちは意欲的に学んでいます。また、「思考力・判断力・表現力」を育成する授業改善に向けて、全職員で取り組んでいます。 (校訓) 感動 理知 友愛 (学校スローガン) Challenge and Step Up with Passion <b>7 学校や関係HPのリンクなどアドレス</b> 大分豊府高校 HP <a href="http://kou.oita-ed.jp/oitahoufu/index.html">http://kou.oita-ed.jp/oitahoufu/index.html</a>